



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

7月号—No.362

2025.6.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



新潟ジャズストリート(新潟市)
©Niigata Jazz Street

●目次 / contents

特集「2025年夏のフェスティバル」

フェスティバルカレンダー／夏休み子ども企画カレンダー……………2

地域通信……………7

財団からのお知らせ……………9

「地域創造フェスティバル2025 in 茅ヶ崎」参加者募集／令和7年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」募集開始／令和7年度「公共ホール音楽活性化事業(障がい者関連プログラム)」[公共ホール現代ダンス活性化障がい者関連事業]全体研修会報告／令和8年度「公共ホール現代ダンス活性化支援事業」実施団体募集／「リージョナルシアター事業」令和8年度実施団体募集・7年度事業スタート／令和8年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」関連事業実施団体募集(おんかつ導入プログラム・おんかつ支援プログラム・市町村連携事業・地域人材育成事業)／「公共ホール邦楽活性化事業」令和8年度実施団体募集・7年度全体研修会報告／令和8・9年度「公立美術館活性化事業」参加館募集

今月のレポート……………16

石川県珠洲市 スズレコードセンター



特集「2025年 夏のフェスティバル」



恒例の「夏のフェスティバル特集号」の季節となりました。話題の大型企画から定番イベントまで、一挙にご紹介します。

2025年7月～9月 フェスティバル カレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。
 ㊦は会場、㊦は問い合わせ先です。
 (㊦は地域創造助成事業)

音楽

●札幌市 7月9日～29日
 パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)2025

世界の若手音楽家の育成を目的として、1990年にレナード・バーンスタインが創設した国際教育音楽祭。今年、PMF修了生で、世界的楽団のポストを担うカリナ・カネラキスが凱旋。自然の中でクラシック音楽をゆったりと楽しむことができるピクニックコンサートをはじめ、オーケストラや室内楽など、21日間で約30公演を開催する。

㊦札幌コンサートホールKitara、札幌芸術の森 ほか
 ㊦(公財)PMF組織委員会
 Tel. 011-242-2211

●青森県青森市ほか
 6月30日～7月6日

青い海と森の音楽祭
 青森ゆかりの音楽家を中心とした音楽祭が今年初開催。指揮

者・沖澤のどかとソプラノ歌手・隠岐彩夏の「音楽を通して生まれ育った青森に貢献したい」という思いから始まった。県内各地でのアウトリーチ、本格的なオーケストラや室内楽コンサート、青森市出身の古坂大魔王が出演するファミリーコンサートなど、誰もが楽しめる内容となっている。

㊦リンクステーションホール青森(青森市文化会館) ほか
 ㊦青い海と森の音楽祭事務局
 Tel. 017-718-1135

●宮城県石巻市 8月24日
 トリコロレ音楽祭

「海十人+そして音楽」をテーマに、音楽を通じて演奏者と聴衆の交流の場をつくり、石巻のまちを明るく元気にすることを目的として2004年に始まり、今年で20回目の節目を迎えるまちかど音楽祭。音楽のジャンルや参加者の年齢は問わず出演者を募集し、石巻市街地会場に4,000人以上の演奏者が集い、さまざまなジャンルの音楽を奏でる。

㊦中瀬公園ほか
 ㊦トリコロレ音楽祭実行委員会
 Tel. 0225-23-2109

●群馬県草津町
 8月17日～30日

第45回草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル

45回を迎える夏の音楽祭。今回は「ウィーンを繋ぐ二人の(S)」をテーマに、生誕200年を迎えるJ.シュトラウス2世と没後200年のA.サリエリの音楽、そして彼らが過ごしたウィーンの風を存分に味わえる多彩なプログラムとなっている。さらに今年からは、気楽に楽しめるショートコンサート・シリーズ「森の音楽会」(全4回)も開催される。

㊦草津音楽の森国際コンサートホール
 ㊦草津夏期国際音楽アカデミー事務局(東京) Tel. 03-5790-5561

●川崎市 7月26日～8月11日
 (7月28日、8月1日は休演日)

フェスタサマーミュージザ
 KAWASAKI 2025

国内オーケストラが華やかな競演を繰り広げるクラシック音楽祭。九州交響楽団が初登場するほか、ミュージザが誇る日本最大級のパイプオルガンの演奏や、ジャズ、子ども向けコンサート、市内音楽大学の公演も開催。期間中は公演レビューや来場者アンケートの感想などが掲載されたスタッフ手づくりの「ほぼ日刊サマーミュージザ」も発行される。

㊦ミュージザ川崎シンフォニーホール、昭和音楽大学
 ㊦ミュージザ川崎シンフォニーホール Tel. 044-520-0200

写真
 左上:アース・セレブレーション(新潟県佐渡市) ©岡本隆史
 右上:サンドクラフト in みたね(秋田県三種町)
 左下:こどもの夢ひろば“ボレロ”(仙台市)
 右下:奈良県立美術館「わたしたちのびじゅつかん」 撮影:木奥恵三

●新潟市 7月19日、20日
第46回新潟ジャズストリート
 「新潟の街を明るく元気に!」という思いから始まった音楽イベント。市内の飲食店やホールおよびストリートを会場に、さまざまなスタイルのジャズが繰り広げられる。地元ミュージシャンのほか、遠方からのミュージシャンも出演。フリーパスチケットで全会場を自由に行き来することができ、ジャズを身近で気軽に楽しむことができる。
 ㊤新潟市内各所
 ㊤新潟ジャズストリート実行委員会 Tel. 025-224-4518

●新潟県佐渡市
 8月22日～24日
アース・セレブレーション2025
 佐渡島的小木地区を舞台に開催される音楽フェスティバル。連日行われるハーバーコンサートの最終日「祝祭 Earth Beat」では、太鼓芸能集団・鼓童と韓国太鼓奏者チェ・ジェチョルやセネガルのアーティストらが共演。また、乳幼児向けの「鼓童×リトミック」など、家族で楽しめる企画やワークショップも充実。
 ㊤小木みなと公園、小木商店街、城山公園 ほか
 ㊤アース・セレブレーション実行委員会 Tel. 0259-81-4100

●山梨県河口湖町
 8月16日、19日、24日
富士山河口湖音楽祭2025
 2002年にスタートした音楽祭。ステラシアター開館30周年を迎える記念すべき年に、佐渡裕が9年ぶりに登場。ゲストに宮川彬良を迎えるシエナ・ウインド・オーケストラのコンサート(16日)、スーパーキッズ・オーケストラ(SKO)のスペシャルコンサート(19日)、全国から集う約400人と共に富士の麓で第九を歌い上げる演奏会(24日)を開催。

㊤河口湖ステラシアター
 ㊤富士山河口湖音楽祭実行委員会 Tel. 0555-72-5588

●長野県松本市
 8月11日～9月9日
2025セイジ・オザワ 松本フェスティバル(OMF)
 34回目の今年は、首席客演指揮者・沖澤のどかとSKOによる「オペラ プリテン:《夏の夜の夢》」の上演、小澤征爾永世総監督の生誕90年を祝い、小澤がこぞという時に選んできたマーラーの「復活」をクリストフ・エッセンバッハの指揮により演奏するほか、榎本大進を迎えてのヴァイオリン協奏曲第1番の演奏など、多彩なプログラムを展開する。
 ㊤キッセイ文化ホール、まつもと市芸術館、松本市音楽文化ホール ほか
 ㊤セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会
 Tel. 0263-39-0001

●長野県木曾町
 8月28日～31日
第51回木曾音楽祭
 51回目を迎える伝統の音楽祭。岡本正之や白井圭、村上淳一郎ら新ディレクター陣の下、有名曲から知られざる名曲を交えた室内楽コンサートを展開。演奏家は町内の個人宅などに滞在し、地元ボランティアが食事の準備をするなど、地域との温かな交流も魅力。地元中学校の体育館で気軽にトップアーティストの演奏を楽しめる前夜祭も開催。
 ㊤木曾文化公園文化ホール ほか
 ㊤木曾音楽祭実行委員会
 Tel. 0264-21-1222

●鹿児島県霧島市
 7月18日～8月3日
第46回霧島国際音楽祭
 コンサートとマスタークラスの二本柱で開催される、世界中の

演奏家が集う国際音楽祭。オープニング・コンサートでは、音楽監督・堤剛の文化勲章と南日本文化賞受章を記念し、笹沼樹と上村文乃を迎え、無伴奏チェロ組曲を披露。また、SUPER BRASS STARSが音楽祭に初登場し、王道クラシックからJAZZまで多彩な公演が展開される。
 ㊤霧島国際音楽ホール(みやまコンセル)、宝山ホールほか
 ㊤みやまコンセル
 Tel. 0995-78-8000

演劇・ダンス

●長野県飯田市ほか
 8月7日～10日
いいだ人形劇フェスタ2025
 毎年夏に開催される日本最大の人形劇の祭典。国内外からプロ・アマチュア・学生の劇団が参加。ヨーロッパやアジアの劇団による海外人形劇公演、伝統人形劇から現代人形劇まで多彩な人形劇を、飯田市および近隣町村の約120会場で上演。人形劇公演のほかにもワークショップ・パレードなど楽しい企画が盛りだくさんの4日間。
 ㊤飯田人形劇場ほか120会場
 ㊤いいだ人形劇フェスタ実行委員会 Tel. 0265-23-3552

美術

●秋田県三種町 7月26日
 (展示は9月30日まで)
サンドクラフト2025 in みたね
 日本海に面した三種町の恵まれた自然を生かし、環境省認定「日本の快水浴場100選」にも選ばれた釜谷浜海水浴場で繰り広げられる砂像制作展示イベント。高さ3.6mのメーン砂像のほか、中型や小型の砂像など、たくさんの作品が展示される。砂像制作体験をはじめ、各種芸能・スポーツ・食のイベントも行われる。
 ㊤三種町釜谷浜海水浴場
 ㊤三種町サンドクラフト実行委

員会事務局 Tel. 0185-85-4830
 ●茨城県水戸市 8月9日、10日
夏のこらぼ・らぼ フェス 2025
 子どもから大人まで楽しめる恒例の夏休み企画。浜松市を拠点に活動するアーティストコレクティブ「そろそろ art in progress」による、館内を巡りながらさまざまな素材、技法、出会いを楽しむワークショップ「ヤー!ヤー!ヤー!」を開催。初日には、同館で個展を開催中の日比野克彦による企画「日比野さんとon the bridge」を実施。
 ㊤水戸芸術館現代美術ギャラリー ほか
 ㊤水戸市芸術振興財団
 Tel. 029-227-8111



●群馬県高崎市
 7月19日～8月31日
こども+おとな+夏の美術館
 毎日開催の「ミュージアム・パスポート」をはじめ、毎週日曜開催の「ポップアップカードをつくらう!」、木曜開催の「チラシでつくるアートな風鈴」など、自由に参加できる創作体験を開催。アーティストを招いて実施するワークショップや、対話を通じて作品を鑑賞するプログラムも予定。
 ㊤㊤群馬県立近代美術館
 Tel. 027-346-5560

●和歌山県和歌山市
 7月12日～9月15日
なつやすみの美術館15
「美術の歴史と歴史の美術」
 2011年に始まった、時代やジャンルもさまざまに、大人も子どもも一緒になって美術を楽しむこ

topics

●フルートのワールドカップ「神戸国際フルートコンクール」を核とした音楽祭がスタート!

「KOBE国際音楽祭2025」



1985年に「学生のオリンピック」として知られるユニバーシアード競技大会が神戸で開催されたことを契機に、国際文化イベントとして創設された「神戸国際フルートコンクール」。第一線で活躍するフルーティストを輩出するとともに、音楽を通じた国際交流と「音楽のまち神戸」を推進することを目的に、阪神・淡路大震災後も絶えず続いてきました。

設立から40年を迎える今年、世界のフルーティストが集まる神戸国際フルートコンクールを核に、多様な音楽で神戸のまちを彩る祝祭として、「世界の音色が集うまち」をコンセプトに掲げた新しい音楽祭がスタートします。

オープニングコンサートでは第2回神戸国際フルートコンクール第1位のエマニュエル・パユがプロデュースを担い、神戸市内管弦楽団、歴代のコンクール日本人入賞者と競演。音楽祭にはコンクールに出場するフルーティストのみならず、世界的アーティストや神戸ゆかりの音楽家、地元の中高生や音楽団体も参加。オリジナルコンサートや総勢約500人によるフルートアンサンブルなど多彩な約100公演を、民間ホールとも連携し、市内各所のホールやまちなかを会場に展開します。

また、音楽祭の一環として、コンクール出場者によるアウトリーチプログラムや、社会と多様な関わり方ができるフルーティストの育成プログラムなどの社会包摂&教育普及企画にも取り組み、年齢や障害の有無、経済的状况にかかわらず文化芸術にふれられる音楽祭を目指します。



●神戸市
7月12日～9月14日
☑神戸文化ホールほか神戸市内各所
☉神戸市民文化振興財団事業部 フルートコンクール事業課 Tel. 078-361-7930
<https://www.kobe-bunka.jp/ongakusai/>

神戸国際フルートコンクール
撮影：吉岡麻莉奈

とができる展覧会。和歌山美術館教育研究会が作成するワークシートは、近隣の学校では夏期休暇中の課題として活用される。学校教育と連携し、美術科のみならず、社会科との科目横断的な視点も含めて美術館教育の新しい可能性を発信している。
☑☉和歌山県立近代美術館
Tel. 073-436-8690

総合

●福島県福島市 8月1日、2日

福島わらじまつり

福島市の夏を彩る「わらじまつり」は、400年超の歴史をもつ「暁まいり」に由来し、日本一の大わらじ(長さ12m)を担いで練り歩く祭り。2019年に大友良英のプロデュースで音頭や物語が新しく生まれ変わり、笛や太鼓の生演

奏に合わせた踊りやパレードが繰り広げられ、健脚や無病息災を願う伝統と市民の憩いの場として親しまれている。

☑福島市信夫通り(国道13号)
☉福島わらじまつり実行委員会(福島県商工会議所内)
Tel. 024-572-7118

●福島県いわき市

7月20日、21日

アリオス・オープンデイ2025

昨年も好評だった夏休みのホール開放企画が今年はパワーアップ。裏方スタッフの体験ができる「たんけんアリオス」や、幅広い年齢が楽しめるサーカスとコンサートに加え、事前予約不要の劇場見学イベント「ふらっとたんけんアリオス」、所蔵楽器の展覧会、スタッフ手づくりの縁日など、子どもから大人まで劇場で遊べる。
☑☉いわき芸術文化交流館アリオス Tel. 0246-22-5800

●東京都小金井市

8月22日、23日

まちはみんなのミュージアム ～ユニバーサル・アート・フェス～

2009年度から始まった小金井市芸術文化振興計画推進事業の一環として開催するフェスティバル。企画運営には市民も関わり、年齢や背景にかかわらず気軽にアートを楽しめる。今回は、ろう者と聴者が共につくるデフ・パペット・シアター・ひとみによる人形劇や、ベイビーシアター、映像や演劇、小さな工作のワークショップなど、多彩なプログラムが実施される。

☑小金井 宮地楽器ホール
☉NPO法人アートフル・アクション
Tel. 042-316-7236

●岐阜県可児市 7月26日、27日

まち元気EXPO 2025

これまで可児市文化創造センターalaが取り組んできた社会

包摂型のプロジェクトをまとめて開催する見本市。自身の専門領域を活かしてalaと共に活動する「まち元気リンクワーカー」18名も企画運営に関わり、全館で外国籍の人や障がいのある人も参加できるワークショップなどを多数展開し、文化芸術を通じた新たなつながり方にふれ、生きる活力を共有する。

☑☉可児市文化創造センターala
Tel. 0574-60-3311

●香川県高松市

5月31日～7月6日

アーツフェスタたかまつ2025

市民企画提案型の文化の祭典として、多彩なジャンルの文化芸術団体が「高松の芸術」を披露する初夏を彩る一大イベント。今年で51回目の開催となり、寄席やクラシックコンサート、ミュージカル、ダンスや民謡、邦楽など、19の多彩なステージが楽しめる。また、開催にあたって募集されたポスターやプログラムの原画作品などの展示も行う。
☑サンポートホール高松 ほか
☉高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2025事業運営委員会 Tel. 087-825-5010

ホール・美術館 夏休み子ども企画 カレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。
☑は会場、☉は問い合わせ先です。
(☞は地域創造助成事業)

音楽・演劇・ダンス

●仙台市 8月2日、3日

第11回こどもの夢ひろば“ボレロ” ～つながる・集まる・羽ばたく～

子どもたちが夢をもつきっかけになればと、仙台市出身の世界的ピアニスト・小山実稚恵が

2015年から毎年開催しているイベント。1日2回のコンサートでは、オーディションを通過した子どもたちが小山やオーケストラと共に『ボレロ』を演奏。ほかにも、会場全体を使いさまざまな体験型プログラムが行われる。

☎日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)

☎仙台・杜の響きコンサート

Tel. 022-302-3344

(平日10:00-17:00)

●宮城県名取市

7月26日、27日

名取こどもミュージカル第15回公演『Together ～おもちゃの町ものがたり～ 2025』

2008年に上演された名取市政50周年記念市民ミュージカルに出演した関係者を中心に、2009年に結成された「名取こどもミュージカル」。保護者有志による実行委員会の運営により、年に1回の本公演を発表してきた。今作は震災後に上演した演目のリバイバル公演。歌や踊りが大好きな子どもたちと保護者が一緒にミュージカルを創作する。

☎名取市文化会館

☎名取こどもミュージカル実行委員会 Tel. 080-5562-2626



●埼玉県川越市 7月26日

やまぶきふれあいコンサート「電気の楽器とオーケストラ」

クラシックに多彩なアイデアを交えたコンサートを各地で開催するルロット・オーケストラによる0歳児から入場可能なコンサート。今回は、創作楽器「ハウリングパイプ」など、新しい音楽

の世界を体感できる。鉛筆の線の上をなぞるとドレミの音が出る「えんぴつキーボード」の工作体験もあり、作成した楽器で客席からの演奏も可能。

☎川越市やまぶき会館

Tel. 049-222-4678

●千葉市 8月20日

かぶりっちょミュージカルコンサート

『ライオンキング』『キャッツ』『マンマミーア!』などに出演してきた元劇団四季のメンバーによるグループ「かぶりっちょ」によるファミリーコンサート。ディズニーやジブリの名曲を中心としたプログラムで、0歳児から親子で楽しめる。アナウンスや会場案内など、ホールスタッフの仕事も体験できる小学3～6年生を対象とした「キッズスタッフ」も実施。

☎千葉市美浜文化ホール

Tel. 043-270-5619

●東京都文京区 8月23日、24日

響きの森きッズプログラム 東京フィル・親子で楽しむ「はじめてのオーケストラ」

年間を通してさまざまな子ども向け公演を行う「響きの森きッズプログラム」のひとつとして、東京フィルハーモニー交響楽団との事業提携により開催する夏休み恒例のコンサート。今回は、ミニオーケストラの生演奏とオペラ歌手によるオリジナル音楽劇『オオカミ少年』を初上演するほか、楽器紹介コーナーや指揮者体験なども予定している。

☎文京シビックホール

Tel. 03-5803-1103

●横浜市 7月21日～27日

(7月22日、25日は休演日)

KAATキッズ・プログラム2025

今年は静岡県舞台芸術センター (SPAC) と協働し、「宝探し」をテーマに両館が作品を創作。

KAATでは、うさぎストライプ主宰の大池容子がイリナ・ブリヌル作の絵本『わたしたちをつなぐたび』を舞台化。SPACは俳優・演出家の寺内亜矢子が、ミヒャエル・エンデ原作の『鏡の中の鏡』を上演する。この公演はグランシップ世界のこども劇場2025連携事業として、8月2日、3日に静岡でも上演。

☎KAAT神奈川芸術劇場

Tel. 045-633-6500

●横浜市 8月7日～10日

横浜みなとみらいホールこどもフェスタ「みなとみらい遊音地」

0歳から参加できるコンサートや舞台上客席で生のオペラを間近に体感できる「おやおオペラ教室」のほか、予約不要でホールの舞台上や裏側を見て回る「オルガン&ホール探検!」など、音楽と横浜みなとみらいホールを全身で楽しめる。中高生ビッグバンド「みなとみらいSuper Big Band」によるコンサートも開催。

☎横浜みなとみらいホール

Tel. 045-682-2020

●富山県富山市 7月19日

オーバード・キッズシアター「ゆるっと狂言」

子どもたちに上質な舞台芸術体験を提供することを目的に昨年スタートした事業。今回は大蔵流狂言の茂山千五郎家を迎え、少し難しいと思われがちな狂言を学べて笑えるプログラムを実施。狂言体験ワークショップの後は、同じく茂山家によるわかりやすく楽しい演目を上演。家族で楽しめる狂言会となっている。

☎オーバード・ホール

☎富山市民文化事業団

Tel. 076-445-5610

●石川県金沢市 8月2日、3日

音楽堂フェスタ2025～宝物を探しに、音楽堂に集まれ!～

22種類のワークショップと講師陣によるライブから成るフェスティバル。定番の箏・日本舞踊・ヴァイオリン・茶道に、珍しいカーンバ・笙・動物物まね、発達障がい者向けのドラムサークルなどが体験できる。昨年好評の1日限定ライブは2日開催となりパワーアップ。県にゆかりのある講師も多く、気軽に文化を体験できる工夫が散りばめられている。

☎石川県立音楽堂

Tel. 076-232-0171

●岐阜県多治見市 8月3日

夏休み!こどもパーク「おしえてシテツさん! たのしい、ためになる、おもしろ〜い こどもらくご」

元鉄道マンで防災士の資格をもつ落語家・登龍亭獅鉄による、親子で楽しめる落語会。電車や防災、地域のお話など、子どもたちが興味をもちやすく、知識も自然に身につくテーマを笑いながら楽しく学ぶことができる落語となっている。

☎パロー文化ホール(多治見市文化会館) Tel. 0572-23-2600

●京都市 7月21日、23日

タイニーダンサー「GROW(グロウ)〜大地と 風と いっしょに〜」fromデンマーク

ロームシアター京都と市内の文化会館が連携し、未就学児向けの作品上演を行う「シアターデビュー!」促進プログラムに、デンマークの「タイニーダンサー」が登場。自然のリズムに着想を得たダンスや音楽、感覚的な舞台美術で、人と自然の「成長」を描く。舞台と客席が一体化した空間で、子どもも大人も心地よい40分を共有できる注目作。

☎7月21日:京都市西文化会館ウエスティ、23日:京都市東部文化会館

☎ロームシアター京都

Tel. 075-771-6051

topics

●この夏、鳥取に妖怪が大集合！

鳥取県立美術館「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～」

今年の3月にオープンした鳥取県立美術館で、水木しげるの生誕100周年を機に企画・巡回してきた「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～」を、彼の故郷である鳥取で満を持して開催します。日本に「妖怪文化」を根付かせ、生涯にわたり日本の妖怪だけでも1,000点近く描いた水木しげるが、どのように向き合い描いてきたか具体的手法に注目し、百鬼夜行に相応しい妖怪画100点以上を展示します。また今回特別に、山陰にまつわる妖怪画も数点が展示されます。

会期に合わせた関連プログラムのひとつ「ダンスパフォーマンス《ヨーカイ YOKAI》」では、昔の文献から得たヒントを参考に妖怪画を描き上げてきた水木しげるに着目。コスチュームアーティストのひびのこづえが同じ過程をたどり、さまざまな伝承から想像をふくらませ衣装をデザインします。その衣装を着た、子どもから大人までオーディションを経て集まった一般のダンサーたちに、ダンサー・振付家の島地保武がユーモラスに振付・演出し、小野龍一の音楽によって妖怪のイメージーションを掻き立てる予測不可能なパフォーマンスを行います。

その他、昨年秋からワークショップを行ってきた芸術家の高橋匡太によるアートプロジェクト《雲の故郷へ》では、海辺から山あいの集落・寺社、観光地から知られざる場所まで、昔の人々の暮らしを感じられる県内22カ所を旅する仲間として「雲の風船」と一緒に散歩しました。参加者と県内を散歩し「過去」と「未来」を見てきた「雲の風船」が美術館に大集合し、光のインスタレーションとして色彩に満ちた空間に浮遊します。

上記以外にも多様な内容で、身近に潜む見えない“妖怪”を想像するきっかけとなる関連プログラムが盛りだくさんです。

●鳥取県倉吉市 7月19日～8月31日
☎鳥取県立美術館
Tel. 0858-24-5442
<https://tottori-moa.jp/>

ひびのこづえワークショップ
「巨大な妖怪を飛ばそう」



●沖縄県那覇市

7月25日～31日

りっかりっかフェスタ(国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ 2025)

「劇場は命薬(ヌチグスイ)」をテーマに、沖縄で開催されるファミリーのための国際舞台芸術フェ

スティバル。23回目の今年は、7カ国16作品が集結。日韓国交正常化60周年を記念し、韓国のアートステージサンとエーシーオー沖縄との共同制作作品が上演されるほか、乳幼児も楽しめるダンス作品やノンバーバル作品など、多彩なプログラムが展開

される。

☎那覇芸術文化劇場なはーと、ひめゆりピースホールほか那覇市内各所

☎りっかりっかフェスタ事務局
Tel. 098-943-1357

美術

●東京都墨田区

6月24日～8月31日

あ！っと北斎～みて、みつめて、みえてくる浮世絵～

葛飾北斎の作品には、「あ！」っと驚く多くの「しかけ」が見られる。北斎の作品から得られる発見を通して、その魅力を感じることでできる展覧会。やさしい解説で作品を紹介しており、初めての美術館見学や、夏休みの自由研究の学習としてもおすすめ。

☎すみだ北斎美術館
Tel. 03-6658-8936

●奈良県奈良市

7月19日～8月24日

わたしたちのびじゅつかん～きて・みて・はなして→たいけんする美術展～

所蔵作品の中から対話を促す作品を展示し、家族や友達と一緒におしゃべりをしながら作品を楽しむ対話型鑑賞を体験。未就学児とその家族を対象とした鑑賞会「ハローミュージアム」や工作などが楽しめる「アート夏祭り」などを通して、美術館が身近な居場所「わたしたちのびじゅつかん」となることを目指す。

☎奈良県立美術館
Tel. 0742-23-3968

●宮崎県宮崎市

7月19日～8月24日

アートセンターのなつやすみ

木の温もりを感じながら遊べる「木育ぱーく」や、段ボールで自由に創作できる「ダンボールぱーく」をはじめ、茶の湯体験やオリジナル神楽面制作、専門学校生

によるヘアメイク体験など、多彩なワークショップやイベントが楽しめる。会期中には宮崎県内に伝わる伝統神事「船引神楽」の上演もあり、宮崎の伝統文化にもふれることができる。

☎みやざきアートセンター
Tel. 0985-22-3115

総合

●岐阜県大垣市 8月24日

自分だけの星をソウゾウしてみよう！

未知の星と生き物を“ソウゾウ”(想像・創造)する宇宙×アートワークショップ。頭の中で“想像”してイメージをふくらませ、宇宙に存在するかもしれない星や生き物を“創造”するほか、身近な素材で自らも変身し、直径18m傾斜型ドームのプラネタリウムの星空の下、宇宙の世界に飛び込む体験ができる。

☎大垣市スイトピアセンターコスモドーム

☎大垣市文化事業団
Tel. 0584-84-2000

●三重県津市

7月19日～8月31日

アソボ・マナボ・タノシソウブン 2025

予約不要で遊べる「アソボデー～!」、じっくり体験できる事前予約プログラムなど、多様な楽しみ方ができる夏休み恒例イベント。文化芸術と社会をつなげるプロジェクト「コネクトそうぶん」企画のバラスポーツ体験やデフ・パペットシアター・ひとみの「あやかし」(妖怪)をつくるワークショップなど、遊び学べる企画を多数開催する。

☎三重県総合文化センター
Tel. 059-233-1105

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

地域通信

●掲載情報について

最新の情報は主催者の発表情報をご確認ください。

●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当 伊藤・中嶋

●2025年9月号情報締切

7月18日(金)

●2025年9月号掲載対象情報

2024年9月～11月に開催もしくは募集されるもの

北海道・東北

●札幌市

サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

〒005-0864 札幌市南区芸術の森2-75

Tel. 011-592-4125 渡辺ひとみ

<https://sapporocityjazz.jp/>

サッポロ・シティ・ジャズ2025

19回目となるジャズフェスティバル。7月は、全国から約230組のバンドが札幌のまちなかで演奏を繰り広げる「パークジャズライブ」や海外ジャズフェスへの出場をかけた「パークジャズライブコンテスト」、11月は札幌市民文化劇場hitaru舞台上の特設会場で飲食とジャズを楽しめる「シアタージャズライブ」を実施する。期間中は市内外でのタイアップライブも開催。

[日程] 7月19日～11月24日

[会場] 大通公園、札幌芸術の森、札幌市民交流プラザ ほか

関東

●東京都三鷹市

三鷹市スポーツと文化財団

〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14

Tel. 0422-47-9100 吉田歩

<https://mitaka-sportsandculture.or.jp/>

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア第91回定期演奏会

三鷹市出身の沼尻竜典の呼びかけにより誕生した「トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア」。今回の定期演奏会は、設立30周年を記念した特別演奏会。長年継続しているモーツァルトのピアノ協奏曲全曲シリーズ第23弾として、今回は第3番を演奏。また前回好評を博したシューベルト『未完成』を演奏するほか、オペレッタ『こうもり』では、5名のソリストと声楽アンサンブルが共演する。

[日程] 7月27日

[会場] 三鷹市芸術文化センター

●神奈川県平塚市

平塚市美術館

〒254-0073 平塚市西八幡1-3-3

Tel. 0463-35-2111 安部沙耶香

<https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-muse/index.html>

よみがえる絵画 修復された川村清雄、藤田嗣治、鳥海青児…

美術館の裏側とも言える保存管理や修復の仕事にスポットを当てた特集展。美術作品が現状以上に劣化することを防ぎ、後世に伝えていくという美術館の社会的な役割を学び、新たな視点で所蔵品を鑑賞することができる。さまざまな修復過程で得られた技術的な知見や科学的なデータをまとめた修復報告書など、普段は未公開の貴重な資料も展示。

[日程] 4月12日～9月7日

[会場] 平塚市美術館

北陸・中部

●長野県長野市

長野県立美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4

Tel. 026-232-0052 茂原奈保子

<https://nagano.art.museum/>

NAMコレクション2025 第1期

信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成されたコレクションから、「Living Room」をテーマに、暮らしをとらえた作品や作家の生活者としての一面を感じられる作品を紹介する。小特集では生誕130年を迎える河野通勢(1895～1950)が描いた自画像や、作家の生活のそばにあった長野市近郊の風景画などを紹介。

[日程] 5月8日～7月28日

[会場] 長野県立美術館

●静岡県掛川市

掛川市二の丸美術館

〒436-0079 掛川市掛川1142-1

Tel. 0537-62-2061 池田恵美子

<https://k-kousya.or.jp/ninomaru/>

掛川市ステンドグラス美術館 開館10周年記念展

市民からの寄贈をきっかけに、2015年、日本初の公立ステンドグラス美術館としてオープンした掛川市ステンドグラス美術館。10周年記念展を隣接する二の丸美術館で開催。シェークスピア戯曲の名場面や肖像、ラ・フォンテーヌの童話など初公開となるステンドグラス作品のほか、19世紀の貴重な原画や道具などのコレクションを展示する。

[日程] 5月15日～7月6日

[会場] 掛川市二の丸美術館

近畿

●大阪府八尾市

八尾市文化振興事業団

〒581-0803 八尾市光町2-40

Tel. 072-924-5111 竹本祐美

<https://prismhall.jp/>

八尾が世界に誇る

わがまちオペラ かわち歌しばい 『美男におわす八尾地蔵』

日本三地蔵の一つといわれる美男で有名な「八尾地蔵」の伝説を基に、八尾の芸術家を中心となって創作したオペラ。1993年の初演以来好評を博し、8回目の上演となる今回は、「大阪・関西万博開催年に機運を高めた」という思いで開催決定。コメディタッチながら心に沁みるセリフ、河内音頭や河内弁による地域色豊かな演出など、見どころ満載。桂吉弥の落語も競演。

[日程] 8月24日

[会場] 八尾市文化会館(プリズムホール)

●兵庫県朝来市

あさご芸術の森美術館

〒679-3423 朝来市多々良木

739-3

Tel. 079-670-4111 小原嘉文

<https://asagoart.com/>

藤本イサム彫刻展～ありのままの60年～

あさご芸術の森第1号彫刻作品《ココロ・コロ・コロ》(1993年)を公開制作した朝来市在住の彫刻家・藤本イサムの展覧会。木や石の素材の質感を生かした彫刻や、ユーモラスに仕上げられた家具など、生み出された作品は幅広い分野にわたっている。朝来市出身で文化勲章を受章した彫刻家・淀井敏夫没後20周年展も同時開催中。
[日程]5月24日～7月6日
[会場]あさご芸術の森美術館

●奈良県大和高田市

大和高田さざんかホール
〒635-0082 大和高田市本郷町6-36
Tel. 0745-53-8200 松川小麦
<https://www.city.yamatotakada.nara.jp/sazankahall/>

金子三勇士 ピアノ・リサイタル～デビュー50周年の大谷康子を迎えて～

大和高田さざんかホールのレジデント・アーティストで、ライフワークの一環としてアウトリーチ活動も積極的に行っている金子三勇士によるピアノ・リサイタル。今回はデビュー50周年を迎えたヴァイオリニスト・大谷康子をスペシャルゲストに迎え、初心者から愛好家まで楽しめる親しみやすいプログラムで、18歳以下は無料となっている。
[日程]7月26日
[会場]大和高田さざんかホール

中国・四国

●鳥取県米子市

米子市淀江文化センター
〒689-3403 米子市淀江町西原708-4
Tel. 0859-39-4050 坂本律
<https://www.yonagobunka.net/saname/>
星空コンサート
“星取県”を名乗るほど星が綺

麗な鳥取で、星空の下で聴いて・見て・学べるイベントとして開催しているコンサート。15回目の今年は、クラシック音楽の演奏や『スーホの白い馬』をイメージして新倉健が書き下ろした曲の生演奏と朗読を楽しめる「音の絵本」、市内プラネタリウム施設担当者による星空解説の3部構成。終演後は夏の星や星雲・星団の天体観測を行う。

[日程]7月26日
[会場]さなめホール(米子市淀江文化センター)

●岡山県勝央町

勝央美術文学館
〒709-4316 勝田郡勝央町勝間田207-4
Tel. 0868-38-0270 野村英子
<http://museum.town.shoo.lg.jp/>

福島金一郎没後30年記念展—愛しの仏蘭西(ぱり)—

勝央町出身の洋画家・福島金一郎(1897～1994)は、渡仏後、ピッセルやボナールに師事。サロン・ドートンヌの入選や内閣総理大臣賞受賞など、96歳で亡くなるまで師譲りの色彩画家として活躍した。地元出身の画家・文学者らの仕事を顕彰するための施設として設立された同美術館で、没後30年記念展を開催。所蔵する油彩画ほぼすべてと滋味あふれる水彩画を会期中に入れ替えながら紹介する。
[日程]4月26日～6月29日
[会場]勝央美術文学館

●徳島県徳島市

徳島県文化振興財団
〒770-0835 徳島市藍場町2-14
Tel. 088-622-8121 川口剛
<https://kyoubun.or.jp/>

あわぎんホール×関西4オケ 徳島スペシャルコンサートVol.3 大阪交響楽団

大阪・関西万博の開催を記念して、関西を代表する4つのオーケ

ストラの公演を開催。第3弾は大阪交響楽団、山下一史(指揮者)、郷古廉(ソリスト・ヴァイオリン)を迎える。プログラムは徳島県出身の尾形凜斗が作曲を手がけた『やっぱり踊りはやめられぬ』ほか、ブラームスのヴァイオリン協奏曲などを予定。

[日程]8月17日
[会場]あわぎんホール

●高知県高知市

横山隆一記念まんが館
〒781-9529 高知市九反田2-1(高知市文化プラザかるぼーと内)
Tel. 088-883-5029 伊勢脇生花
<https://www.kfca.jp/mangakan/>

伝「やなせたかしと横山隆一」展

共に高知県出身のまんが家・やなせたかしと横山隆一の関わりに迫る企画展。旧制中学の先輩で10歳年上の隆一の活躍に憧れてまんが家になったというやなせと隆一の関わりや、やなせによる高知にまつわる仕事など、自伝や周囲の人物からの伝聞で紹介する。貴重なやなせの初期作品の原画なども展示。
[日程]3月8日～8月31日
[会場]横山隆一記念まんが館

九州・沖縄

●佐賀県鳥栖市

鳥栖市文化事業協会
〒841-0052 鳥栖市宿町807-17
Tel. 0942-85-3645 下村尚生
<https://tosu-bunka.jp/>

木管アンサンブルTHE ROOOM コンサート～5つの楽器が紡ぐ物語～

「ROOOM」とは5名をひとつの部屋に見立て、音楽のフルコースで観客をもてなし、最高の時間を過ごしてほしいという願いが込められている。アリーナの真ん中にステージを設置し、360度どこからでも好きな木管楽器の近くで演奏を聴くことができる。九州交響楽団首席オーボ

エ奏者の佐藤太一をゲストに迎え、極上の音楽をお届けする。
[日程]7月21日
[会場]サンメッセ鳥栖ホール

●長崎県長崎市

長崎県美術館
〒850-0862 長崎市出島町2-1
Tel. 095-833-2110 森園敦
<https://www.nagasaki-museum.jp>

ゴヤからピカソ、そして長崎へ 芸術家が見た戦争のすがた

開館20周年と被爆80年という節目の年にちなみ、今もなお凄惨な戦争が続く切実な現状をテーマとした企画展を開催。収蔵作品であるフランシスコ・デ・ゴヤの版画集《戦争の惨禍》全82点を中心に、芸術家たちが戦争を視覚化してきた約180点の作品を7つのテーマに分けて展示。スペイン国立ブラド美術館学芸員とスペイン美術史研究の専門家によるシンポジウムも開催。
[日程]7月19日～9月7日
[会場]長崎県美術館

●大分県大分市

iichiko総合文化センター
〒870-0029 大分市高砂町2-33
Tel. 097-533-4004 八坂千景
<https://emo.or.jp/>

意外性の取組ここに開幕 新・感・覚コンサート～相撲をテーマに作曲された音楽を西洋楽器で奏でます～

世代や性別、障がいの有無、芸術の壁をも取り払って体験する鑑賞支援つきコンサート。「相撲を聞く」をテーマに活動をする野村誠、樺山智子、鶴見幸代という3名の作曲家によるユニット「日本相撲聞芸術作曲家協議会(ジャクシャ)」を迎え、相撲独特の音楽を、ヴァイオリンやピアノなどで演奏する。
[日程]7月22日
[会場]iichiko総合文化センター

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

財団からのお知らせ

●地域創造フェスティバル2025 in 茅ヶ崎

[日程] 2025年8月4日(月)～6日(水)
[会場] 茅ヶ崎市民文化会館
(神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1-11-1)
[申し込み方法] 地域創造ホームページ
「参加登録フォーム」からお申し込みください。

<https://www.jafra.or.jp/project/festival/01.html>

◎問い合わせ
芸術環境部 児島
Tel. 03-5573-4183



●地域創造フェスティバル2025 in 茅ヶ崎 参加者募集

地域創造が取り組んでいる事業を紹介し、公共ホールや地方公共団体が事業を企画・実施する上で参考になる情報を提供することを目的に、「地域創造フェスティバル2025」を8月4日～6日の3日間、茅ヶ崎市民文化会館(神奈川県茅ヶ崎市)で開催します。全国の皆様のご参加をお待ちしております。

※事前申し込み制です。一部のプログラムは定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

募集締切:7月25日(金)必着

フェスティバルのみどころ

◎おんかつ支援プレゼンテーション (公共ホール音楽活性化支援事業)

おんかつ支援の登録アーティスト54組が、音楽との新しい出会いを地域へ届けるため工夫を凝らした演奏とトークを、一組約25分の持ち時間の中で披露します。

◎ダン活プレゼンテーション (公共ホール現代ダンス活性化事業)

令和8年度ダン活登録アーティスト7組による、ダンスパフォーマンスやワークショップのデモンストレーションを鑑賞いただけます。

◎シンポジウム「みんなで考える文化芸術のアクセシビリティ」

「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」(2018年)が施行され、公共ホールにおいてはインクルーシブ事業やアクセシビリティの取り組みがより一層広がっています。公共ホールは文化芸術を通してどのように地域と向き合い、障がいのある方との関わりを広げていくことができるのか、実施事例を紹介しながら、それぞれが試行錯誤する中で見えてきたことやこれからの取り組みについて考えます。

◎事業個別相談会

地域創造の各種事業(おんかつ・邦楽・ダン活・リージョナル・美活)について、申請に関する具体的なお問い合わせやこれまでの事業の様子等を聞くことができます。

地域創造フェスティバル2025 in 茅ヶ崎 プログラム

*詳しいプログラム内容やタイムスケジュールは同封チラシまたは地域創造ホームページをご覧ください。
*出演者および出演日等は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

8月4日(月)	8月5日(火)	8月6日(水)
	●シンポジウム [モデレーター]吉本光宏(合同会社文化コモンズ研究所) [パネリスト]大澤寅雄(合同会社文化コモンズ研究所) / 伊藤玲子(荘銀タクト鶴岡 事業企画係長) / 福岡一(島根県芸術文化センター「グラントワ」いわみ芸術劇場 文化事業課長) / 佐藤拓道(たんぼの家アートセンターHANA 副施設長) / 松本志帆子(薬工ミュージアム 学芸スタッフ、NPO蛸蔵 理事)	●助成・事業要綱説明会 地域創造助成要綱、公立美術館活性化事業の説明を行います。
	●ダン活プレゼンテーション 黒須育海、Von・noz、橋本真那、康本雅子、岩淵貞太、浅井信好、井田亜彩実	●事業個別相談会 地域創造の各種事業について担当者が個別の相談を承ります(1件15分)。
●おんかつ支援プレゼンテーション [ピアノ]今田篤、高橋ドレミ、田村緑 [弦楽器]神谷未穂、早稲田桜子(ヴァイオリン) / 海野幹雄、奥田なな子、加藤文枝(チェロ) [管楽器]田村真寛(サクソフォン) [声楽]上田純子(ソプラノ) / 糸賀修平(テノール) / ヴィタリ・エシュマノフ(バリトン) [打楽器]大熊理津子(マリンバ) / 野尻小矢佳(パーカッション&ボイス) [邦楽]藤重奈那子(箏・地歌三味線) [その他]松尾俊介(クラシック・ギター) [アンサンブル]Quintet H(木管五重奏) / BLACK BOTTOM BRASS BAND(ブラスバンド)	●おんかつ支援プレゼンテーション [ピアノ]新崎誠実、岩崎洵奈 [弦楽器]北島佳奈、高橋和歌(ヴァイオリン) [管楽器]森岡有裕子(フルート) / 大石将紀、田中拓也(サクソフォン) / 高見信行(トランペット) / 喜名雅(テューバ) [声楽]大森智子、乗松恵美(ソプラノ) [邦楽]安嶋三保子(箏・十七絃) [アンサンブル]デュエットウ かなえ&ゆかり(ピアノデュオ) / Dual KOTO×KOTO(箏デュオ) / アーバンサクソフォンカルテット、Quatuor B、Modétro Saxophone Ensemble(サクソフォン四重奏)	●おんかつ支援プレゼンテーション [ピアノ]新居由佳梨、酒井有彩、中野翔太 [弦楽器]石上真由子、瀧村依里(ヴァイオリン) [管楽器]荒川洋、吉岡次郎(フルート) / 加藤直明(トロンボーン) [声楽]梅津碧(ソプラノ) [打楽器]塚越慎子(マリンバ) / 新野将之(パーカッション・マリンバ) [邦楽]森梓紗(箏) / 大萩康喜(尺八) / 棚原健太(歌三線) [その他]山本奈央(オカリナ) [アンサンブル]泉真由×松田弦(フルート&クラシック・ギター) / Quartet SPIRITUS(サクソフォン四重奏) / Buzz Five(金管五重奏)
●情報交換会 アーティストや全国の公立文化施設の方々とのお交流ができます。情報交換やネットワークづくりにぜひご参加ください。		

*おんかつ支援プレゼンテーションの出演者名は楽器ごとの五十音順。なお当日の出演時間および出演順は、現在調整中です。

財団からのお知らせ

- 令和7年度「公共ホール音楽活性化事業(障がい者関連プログラム)」実施団体/アーティスト
●三重県伊賀市/石上真由子(ヴァイオリン)
●岡山県倉敷市/野尻小矢佳(パーカッション)

- 令和7年度「公共ホール現代ダンス活性化障がい者関連事業」実施団体/アーティスト
●山形県鶴岡市/セレノグラフィカ(隅地茉歩+阿比留修一)
●愛知県豊橋市/田畑真希

- 公共ホール音楽活性化事業(障がい者関連プログラム)、公共ホール現代ダンス活性化障がい者関連事業に関する問い合わせ
芸術環境部 垂水・波多野
Tel. 03-5573-4076

令和7年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」募集開始

地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く周知することにより、公立文化施設の活動のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的としています。ご応募をお待ちしています。

募集締切: 2025年8月20日(水)

●表彰対象

- 開館から概ね5年を経過している(廃校施設等の転用施設を含む)
- 地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績を挙げている
- 条例により公の施設として設置および管理されている
- 以下の①～⑤を主な活動分野としている文化施設
①音楽分野、②演劇・ダンス分野、③伝統芸能分野、④美術分野、⑤その他(文化・芸術の新機軸となり得る創意工夫をこらした文学、歴史などで①～④の分野と連携しながら継続的に事業を展開していると認められるもの)

●審査の主なポイント

- 地方公共団体等が、文化・芸術による地域振

興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか

- 先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか
- 地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働(コラボレーション)に意欲的に取り組んでいるか など

◎実施要領・応募方法

「実施要領」「応募書」は当財団のホームページからダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/award/01.html>

都道府県・政令指定都市は当財団に直接ご応募ください。市区町村は、当財団のホームページに掲載した都道府県の担当課を経由して提出してください。

◎問い合わせ 総務部 山下・益子

Tel. 03-5573-4054 taishou@jafra.or.jp

●令和7年度「公共ホール音楽活性化事業(障がい者関連プログラム)」「公共ホール現代ダンス活性化障がい者関連事業」全体研修会報告

地域創造では、今年度より「障がい者関連事業」をスタートしました。この事業は、これまでにおんかつ、ダン活、邦楽事業を実施してきた団体が、蓄積したノウハウを活かし、特別支援学校や障害者施設等を対象にアウトリーチを実施するものです。事業開始にあたり、事業実施団体担当者、アーティスト、コーディネーターが集まり、5月8日、9日の2日間にわたって全体研修会を開催しました。

初日は、「多様な参画の実現に向けて～障がい者とアートをつなぐ～」をテーマに、講師の吉野さつきさん(愛知大学文学部メディア芸術専攻教授)と南部充央さん((一社)日本障害者舞台芸術協働機構 代表理事)によるレクチャーがあり、事業を進める上で大切にしたい視点や具体的な事例が紹介され、現場との丁寧な対話の重要性が語られました。

続いて、コーディネーターやアーティストそれぞれの活動の事例が紹介され、音楽や

ダンス、演劇、美術など多様な分野における取り組みが共有されました。当事者との向き合い方や創意工夫のプロセスについてなど、参加者にとって深い学びの時間となりました。セレノグラフィカの隅地茉歩さんと阿比留修一さんからは、知的障がいと情緒障がいのある子どもたちとの創作活動で、特性の異なる子どもたちに向き合う難しさや喜び、学校との連携をどのように築いたかなど、現場でのリアルな経験が紹介されました。

南部さんは「前例に学ぶことが、かえって固定概念を生む場合がある」と、固定概念が参加の障壁となる危険性を指摘。文化芸術には、こうしたバリアを超え、新たな価値を創出する力があることが示唆され、多様な参画を実現する文化芸術の可能性を再認識する貴重な機会となりました。

初日の後半からは、地域ごとのグループに分かれ、各地域の状況や課題を基に意見交

換するなど事業の実施に向けたディスカッションが展開され、2日目の最後にそれぞれ経過を発表しました。参加者間での情報共有と相互理解が深まり、今後の事業に向けた方向性の確認と土台づくりが進められました。

今後、各地域でどのような取り組みが行われ、担当者がどのようにその舵取りをしているのか、新たな事業の展開にぜひご注目ください。



全体研修会の様子

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●令和8年度「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」実施団体募集

この事業は、公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)実施団体を対象としたフォローアッププログラムです。ダン活で蓄積したノウハウを活用し、引き続き同様の事業を行う地方公共団体等に対して、令和8年度より、最大3カ年まで財政的に支援を行うこととしました。

募集締切：2025年9月5日(金) 必着

◎対象団体

次に掲げる①または②に該当する団体であって、原則として令和3年度以降にダン活またはダン活支援を実施した団体

①ダン活のAプログラム(地域交流プログラム)、Bプログラム(市民参加作品創作・公演プログラム)およびCプログラム(公演プログラム)のすべてを実施した地方公共団体等

②ダン活のAプログラムおよびBプログラム、またはAプログラムおよびCプログラムを実施した地方公共団体等

◎対象アーティスト

公共ホール現代ダンス活性化支援事業登録アーティスト(29組)

◎支援内容

以下の①②に係る経費の3分の2以内(2年目以降は2分の1以内)で財政支援を行います。

①対象アーティスト等派遣経費：対象アーティスト、アシスタント、テクニカルスタッフ等の出演料等(助成対象上限あり)、交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、損害保険料

②公演負担金：公演実施に係る経費(助成対象上限額あり)

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

●令和8年度「リージョナルシアター事業」実施団体募集

演出家や俳優(以下、派遣アーティスト)を公共ホールに最大3回派遣し、公共ホールとともに演劇の手法を使ったワークショップを企画・実施する「リージョナルシアター事業」の実施団体を募集します。

この事業では、学校等の施設を訪れて子ども等を対象にワークショップを行うアウトリーチや、ホール等で多様な参加者に応じたワークショップを実施します。地域のニーズやホールの目指す方向性に合わせて自由に企画することができ、地域の課題に取り組むことが

可能になります。また、公共ホール等スタッフの企画・制作能力の向上、ホールの活性化も期待できます。これまで、小中学校でのアウトリーチや、公募した市民と共にまち歩きやホール探検をして地域・ホールの魅力を再発見するワークショップ、行政職員や教員の研修として行うワークショップなど、多岐にわたるプログラムを実施してきました。

事業実施前には実施団体と派遣アーティストによる研修会を実施し、過去の事例紹介やワークショップ体験、事業実施に向けた打ち合わせを行うことで、各地域の課題や展望を共有していきます。

演劇の手法を使った新しい取り組みへの挑戦や、派遣アーティストの新しい視点を活用したいというホールの皆様のご応募をお待ちしています。詳細は当財団ホームページをご覧ください。

<https://www.jafra.or.jp/project/theater/02.html>

募集締切：2025年8月15日(金) 必着

地域創造公式YouTubeチャンネルでは令和4年度リージョナルシアター事業の山形県酒田市・福島県白河市の取り組みを配信中！ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLYZCJ31ETs1lzLgMJrdFhlsanFOfObH8>



●令和7年度「リージョナルシアター事業」がスタート

今年度は6団体が参加し、まちの規模もミッションもさまざまな中で、担当者が派遣アーティストと対話を重ねながら企画した事業が、順次スタートしました。

仙台市(実施団体：(公財)仙台市市民文化事業団/アーティスト：福田修志)では、仙台市立旭丘小学校の3年生2クラスを対象としたアウトリーチを実施しました。前半では、アシスタントの俳優2名による「宝探し」を題材にしたデモンストラーションの鑑賞や想像力を使うゲームを行ったあと、後半では3つのグループに分かれて3枚の写真から「何かを探しに行くお話」をつくるワークに取り組みました。生徒たちはアイデアを出し合いながら話し合いを重ね、「黄金のバナナ」

を探しに行くお話や、「伝説のお屋敷」を探検する冒険譚など、想像力を大いに発揮して物語をつくり上げました。

その他の地域でも、中高生やシニア対象のワークショップ、ホールの機能を活かしたワークショップなどが実施される予定ですので、興味のある方はぜひご視察ください。



仙台市立旭丘小学校で実施したアウトリーチの様子

●令和8年度「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」の実施要綱・申込書等は、当財団ホームページに掲載しています。

<https://www.jafra.or.jp/project/dance/02.html>

◎申し込み・問い合わせ

芸術環境部 今野

Tel. 03-5573-4067

E-mail: dankatsu@jafra.or.jp

●令和8年度リージョナルシアター事業

◎派遣アーティスト

有門正太郎、越智良江、志賀亮史、樋口ミュウ、福田修志

◎アドバイザー兼派遣アーティスト

多田淳之介、田上豊

※実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/theater/02.html#boshu>

●令和7年度リージョナルシアター事業

開催地(派遣アーティスト)

●岩手県釜石市(樋口ミュウ)

●宮城県仙台市(福田修志)

●東京都国立市(越智良江)

●三重県鈴鹿市(田上豊)

●大阪府箕面市(有門正太郎)

●兵庫県伊丹市(志賀亮史)

●リージョナルシアター事業に関する問い合わせ

芸術環境部 藤原・桑山

Tel. 03-5573-4124

regional@jafra.or.jp

財団からのお知らせ

●2025・2026年度「公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)」登録アーティスト

- 三原末紗子(ピアノ)
- 鈴木舞(ヴァイオリン)
- 北垣彩(チェロ)
- 山崎由貴(ユーフォニアム)
- 小野寺光(バスバリトン)

●公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)に関する問い合わせ

芸術環境部 金山・北川
Tel. 03-5573-4168

●公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)に関する問い合わせ

芸術環境部 和田・渡邊
Tel. 03-5573-4185

●公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業に関する問い合わせ

芸術環境部 和田・柴田
Tel. 03-5573-4185

●公共ホール音楽活性化・地域人材育成事業に関する問い合わせ

芸術環境部 北川・和田
Tel. 03-5573-4069

※おんかつ関連事業共通メールアドレス
onkatsu@jafra.or.jp

※各事業の実施要綱・申込書は当財団ホームページ内からダウンロードできます。

- 導入プログラム
<https://www.jafra.or.jp/project/music/01.html>
- 支援プログラム
<https://www.jafra.or.jp/project/music/03.html>
- 市町村連携事業
<https://www.jafra.or.jp/project/music/06.html>
- 地域人材育成事業
<https://www.jafra.or.jp/project/music/07.html>

●令和8年度「公共ホール音楽活性化事業(導入プログラム)」実施団体募集

この事業(おんかつ)は、オーディションで選ばれたクラシック音楽のアーティストと専門家のコーディネーターを公共ホールに派遣し、ホールとアーティストが共同で企画した学校や福祉施設等での地域交流プログラムや公演を実施することにより、公共ホールの利活用の促進やホールスタッフの企画・制作能力の向上、創造性豊かな地域づくりを支援するものです。アーティストは登録アーティスト(左記参照)より選定していただきます。

募集締切:2025年9月4日(木)必着

◎対象団体

- ①市町村(特別区を含み、政令指定都市を除く)
- ②市町村の公共ホール指定管理者 など

◎事業内容

3日間の連続した日程で、次の事業を実施する。
[地域交流プログラム]学校や福祉施設等でのミニコンサートやワークショップなど、地域との交流を図る事業:4回(1日につき2回)
[公演]公共ホールで開催する有料のクラシック音楽コンサート:1回

◎経費負担・支援内容

演奏家派遣経費(出演料、現地移動費を除く交通費、宿泊費等)/地域交流プログラムに係る経費(主にピアノ調律費:10万円限度)/コーディネーターの派遣/全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)および個別研修(現地地下見)の実施

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

●令和8年度「公共ホール音楽活性化支援・市町村連携事業」実施団体募集

この事業は、おんかつや邦楽事業の実施団体を対象として、他の市町村の公共ホールと連携した事業の実施により、公共ホール間の連携について考え学ぶ機会の確保および公共ホール職員等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的としています。

募集締切:2025年9月4日(木)必着

●令和8年度「公共ホール音楽活性化支援事業(支援プログラム)」実施団体募集

この事業(おんかつ支援)は、おんかつまたは公共ホール邦楽活性化事業の実施団体を対象とした、最大5カ年まで実施可能なフォローアッププログラムです。前述の事業で得たノウハウを活用し、引き続き同様の事業を行う市町村等に対して財政的に支援します。

募集締切:2025年9月4日(木)必着

◎対象団体

おんかつ(おんかつ支援、発展継続(支援)、文化庁連携事業を含む)または公共ホール邦楽活性化事業を過去に実施した市町村等(特別区を含み、政令指定都市を除く)。ただし、おんかつ、邦楽事業または地域創造の他の共催事業を原則として10年以内に実施していること。

◎対象アーティスト

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト

◎支援内容

以下の①および②に係る経費の支援1年目:2/3、2年目以降:1/2を地域創造が助成します。
(※対象経費上限は100万円。助成割合は過去のおんかつ等事業実施状況を勘案し決定)

①演奏家に係る経費

出演料およびマネジメント料(上限あり)、交通費(現地移動費を除く)、宿泊費、日当、楽器運搬費(現地楽器運搬費を除く)、損害保険料

②地域交流プログラムおよび公演に係る経費

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

◎対象団体

幹事団体:上記「おんかつ支援」と同じ/参加団体:原則として幹事団体の近隣に存する市町村等(おんかつ等の実施の有無を問わない)

◎対象アーティスト

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト

◎事業内容

①全体研修会、企画会議等、②地域交流プログラム(各団体が主体となって実施)、③公演(有料公演、共同実施も可)、④報告会

◎経費負担・支援内容

上記事業に係る経費の1/2を地域創造が負担(対象経費上限:幹事団体は150万円、参加団体は100万円)/アドバイザーの派遣/研修会における講師の派遣

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●令和8年度「公共ホール音楽活性化・地域人材育成事業」実施団体募集

この事業は、おんかつや邦楽事業の実施団体を対象として、公共ホールを拠点としたアウトリーチの手法を活用した地域交流プログラムに関する研修会等を実施するものです。特に地域にゆかりのあるアーティストと共に行う事業の実施および継続することで、創造性豊かな地域づくりを支援することを目的としています。

募集締切：2025年9月4日(木) 必着

◎対象団体

左記「おんかつ支援」と同じ。

◎事業内容

- ①研修プログラムの策定
- ②研修会等の実施
- ③報告会の実施

◎経費負担・支援内容

上記事業に係る経費の1/2を地域創造が負担(対象経費上限100万円)/アドバイザー等の派遣/研修会における講師の派遣

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

●令和8年度「公共ホール邦楽活性化事業」実施団体募集

この事業は、オーディションで選ばれた邦楽演奏家とコーディネーターを公共ホールに派遣し、ホールと演奏家が共同で企画した地域交流プログラムやホールプログラムを実施するものです。公共ホールの利活用の促進やホールスタッフの企画・制作能力の向上、創造性豊かな地域づくりを支援するとともに、日本の伝統音楽の継承発展に寄与することを目的としています。

募集締切：2025年9月4日(木) 必着

◎対象団体

- ①市町村(特別区および政令指定都市を含む)
- ②市町村の公共ホール指定管理者 など

◎対象アーティスト

令和8・9年度邦楽登録演奏家
(※7月中旬に当財団ホームページに公開予定)

◎事業内容

原則、3日間の連続した日程で、次の事業を実施する。

[地域交流プログラム] 学校や福祉施設等でのミニコンサートやワークショップなど、地域との交流を図る事業：4回(1日につき2回)

[ホールプログラム] 公共ホールで開催する有料の邦楽コンサートまたは公募型ワークショップ：1回

◎経費負担・支援内容

演奏家派遣経費(出演料、現地移動費を除く交通費、宿泊費等)/地域交流プログラムに係る経費(楽器運搬費など：10万円限度)/コーディネーターの派遣/全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)および個別研修(現地見)の実施

※詳細は実施要綱等をご確認ください。

●令和7年度「公共ホール邦楽活性化事業」実施団体一覧(全6団体)

石川県かほく市、滋賀県東近江市、島根県安来市、佐賀県佐賀市、長崎県大村市、宮崎県門川町

◎邦楽事業の実施要綱・申込書は当財団のホームページ内からダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/04.html>

◎問い合わせ 芸術環境部 渡邊
Tel.03-5573-4143

hougaku@jafra.or.jp

●令和7年度「公共ホール邦楽活性化事業」全体研修会報告

令和3年度から始まった公共ホール邦楽活性化事業。5年目となる今年度は6団体が事業を実施予定です。5月14日～16日の3日間、実施団体を対象とする全体研修会を開催しました。

開会式後にアイスブレイクを兼ねた演劇ワークショップを福田修志さん(リージョナルシアター事業派遣アーティスト)により実施。各団体の担当者とコーディネーターの互いの一面が垣間見れる時間を共有し、親交を深めました。会場の雰囲気が温まったところで、アウトリーチに取り組むことへの意義や邦楽の基礎知識についてレクチャーが行われました。

2日目には、令和5年度実施団体の兵庫県三田市と埼玉県三郷市から事例紹介がありました。同じホール担当者の立場から、どのような課題があり、それをどう乗り越えたのか、といった今後の事業展開に役立つヒントが散りばめられた実践的な講話が繰り広げられました。

その後、かつしかシンフォニーヒルズ・アイ

リスホールにて令和6・7年度登録演奏家である森梓紗さん(箏、三絃、十七絃)、安嶋三保子さん(箏、三絃、十七絃)、大萩康喜さん(尺八)が助演者と共にプレゼンテーションを披露。登録2年目ということもあり、昨年はこんなアウトリーチを行った、など実体験を交えながら選び抜かれた曲目を奏でました。担当者からは、「間近で演奏を見て聞くことで、さまざまに想像力が掻き立てられて感動した」という感想もありました。

続いて、担当者による演奏家への地域紹介プレゼンテーションが行われ、パワーポイントを使いながら、それぞれの地域の魅力が発表されました。文化や歴史の違いもあり、聞き比べる楽しさがありました。特に食についてはどの地域も魅力的で、うちに来たら美味しいご飯屋さん連れて行きますよ!の言葉には会場が笑いに包まれました。

最終日となる3日目は、企画内容をじっくり検討。担当者は「誰に届けたいのか」「届けることでどのような変化を期待するのか」などを自分の言葉で発表しました。地域によ

て形を変えていくアウトリーチ、今後どのような企画が実現していくのか楽しみです。



上:福田修志さんの演劇ワークショップ
下:安嶋三保子さんのプレゼンテーション

財団からのお知らせ

◎[I]「市町村立美術館活性化事業」 参加申し込み方法

参加を希望する市町村立美術館が、直接地域創造に申し込みます(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要)。なお、参加決定後に共同巡回展実行委員会を設立していただきます。また、事業の参加に当たっては、準備年度に開催される実行委員会・学芸担当者会議への出席にかかる経費等についての予算措置が必要です。

●公立美術館活性化事業に関する問い合わせ

総務部 高野・中嶋
Tel. 03-5573-4056
bikatsu@jafra.or.jp

●各事業の詳細については、実施要綱をご確認ください。各実施要綱および申請書類は、当財団ホームページからダウンロードできます。

<https://www.jafra.or.jp/>

「市町村立美術館活性化事業」 貸出協力館を募集します

令和10年度(令和9年度準備)以降に開催する共同巡回展のための協力館を募集します。協力館には、収蔵作品の貸出や、巡回展開催のために助言等を行うアドバイザーの就任等をお願いしています。本事業では西洋美術や版画、工芸、写真、現代美術等、多様なジャンルの展示会を23回開催し(令和6年度までの実績)、美術館の連携促進、共同事業の可能性を広げることによる公立文化施設の活性化を目指してきました。また、巡回展は全国各地の美術館3~4館程度を約1年かけて開催しますので、収蔵作品活用の機会になります。詳細は担当までお問合せください。

●令和8・9年度「公立美術館活性化事業」 参加館募集

公立美術館活性化事業における4事業5種類のプログラムについて、参加館を募集します。

募集締切:2025年10月31日(金)

[I] 令和8年度準備・9年度開催 「市町村立美術館活性化事業」

この事業は、地域創造が提示する公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展を、市区町村の設置する美術館が共同で実施するものです。参加館で実行委員会を結成し、準備年度である令和8年度は学芸担当者会議等を行い、アドバイザーの助言のもと企画の具体化や調査研究、制作実務を参加館で分担して進めます。そして令和9年度に巡回展を開催します。

地域創造は、準備年度・開催年度の2か年

にわたる助成に加え、アドバイザーの派遣や制作実務に対する助言等により、事業の実施をサポートします。

今年度募集するのは、令和9年度に開催予定の共同巡回展「びじゅつって、すげえ!~大分県立美術館の「教材ボックス」を通して~」(仮称)への参加館です。大分県立美術館では、さまざまな美術の表現を支えてきた画材や素材の、モノとしての成り立ちや特徴を知るための「教材ボックス」を所蔵しています。

この度は、日本画や洋画など、さまざまなジャンルの作品に対応したこの教材ボックスに加え、「触る・触れる教材[Hands on Works]」、個人コレクターから寄贈された、国内外の現代美術・民俗資料から成る「利岡コレクション」を借用し、作品を“視る”楽しさや表現の多様さを伝える巡回展を企画します。参加館それぞれ

●「大分県立美術館の『教材ボックス』を通して展」企画について

美術館の来館者は、美術作品が何を表現しているかには関心を寄せていても、物理的に美術作品を成り立たせている画材や素材といったモノに対しては、意外と無関心なことがあります。しかし普段はあまり気にとめないモノも、見方を変えると今まで気づかなかったモノの意味や表情が見えてくることがあります。さまざまな美術の表現を支えてきた画材や素材の、モノとしての成り立ちや特徴を知り、長い歴史の中で加えられてきた人智や人間の細かな配慮や技術の確かさを知る、つまりモノと人との関わりに注目して作品をみることは、美術を能動的に“視る”楽しさを発見することにつながるでしょう。

大分県立美術館では、こうした画材や素材を発見するための「教材ボックス」を所蔵し、教育普及活動の場で展開をしています。この度は、日本画や洋画など、さまざまなジャンルの作品に対応したこの教材ボックスに加え、アーティストに直接作品制作を委託した「触る・触れる教材[Hands on Works]」と現代美術を中心とした「利岡コレクション」を借用し、作品を“視る”楽しさや表現の多様さを伝える巡回展を企画します。参加館それぞれで自館のコレクションを加えて展示するという展開も可能です。

アドバイザーには、大分県立美術館教育普及室の中嶋健太氏に就任いただく予定です。担当学芸

員は、共に出品作品を検討して展示を構成し、この展示にふさわしい教育普及プログラムもつくり上げ、運営までを協働します。

参加館は、これまでと違う視点で作品を紹介すること、さらに教育普及活動につなげることで、多角的かつ奥行きのある展示会を開催することができるでしょう。



教材ボックス

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

で自館のコレクションを加えての展示や、触る・触れる教材[Hands on Works]を活用して社会包摂的な事業展開をすることも可能です。本事業は、共同企画を通じた学芸員の研修も目的としているため、経験の有無に関わらず参加いただけます。ご興味のある方は、まずはお気軽に担当までお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております。

[II-①] 令和8年度準備・9年度開催

[公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)]

[II-②] 令和8年度開催

[公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)]

3館以上の公立美術館が共同で自主的に企画・制作による、公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展に対し助成します。

「2か年プログラム」は、令和8年度に企画の具体化や調査研究、出品交渉やカタログ編集等の準備作業を行い、令和9年度に巡回展を開催する事業を対象とし、準備年度150万円、開催年度2,000万円を上限に助成します(なお、開催年度助成金については、決定額の50%までの前金払い請求が可能です)。

「単年度プログラム」は、令和8年度に開催される共同巡回展について、A.作品借用・展示

関連経費への助成と、B.図録作成経費への助成のどちらかをご選択いただき、A.については500万円、B.については300万円を上限に助成します。

[III] 令和8年度実施

[公立美術館共同巡回展企画支援事業]

2館以上の公立美術館による、「公立美術館共同巡回展開催助成事業」の申請に向けた、企画内容の検討や調査研究等の取り組みを支援します。学芸担当者会議の開催や調査活動のための経費に対し、100万円を上限に助成するほか、アドバイザーの派遣、会議室の提供、他の参加館募集の告知等による支援も行います。

[IV] 令和8年度実施

[公立美術館共同地域交流プログラム助成事業]

2館以上の公立美術館が共同で企画する、公立美術館の所蔵品を活用した地域交流プログラムの実施に対し、100万円を上限に助成します。参加館や他の公立美術館のコレクションを活用した展覧会(異なる展覧会も可)に関連し、各館の展示内容やテーマ(作家、素材、技法、様式、モチーフなど)をもとに自主的に企画・実施される地域交流プログラムが対象です。

◎[II-①][公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)]申請方法

- 準備年度:各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。

- 開催年度:準備年度に助成決定を受けた共同巡回展実行委員会より申請します。

◎[II-②][公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)]申請方法

各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。

◎[III][公立美術館共同巡回展企画支援事業]および[IV][公立美術館共同地域交流プログラム助成事業]申請方法

各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください(指定管理者制度を導入している施設の場合に限り、設置者である地方公共団体の長の副申が必要)です。なお、実行委員会の設立は必要ありません。

事業名	対象となる美術館(*1)	申請について	助成措置		
			助成率(*2)	上限額	助成期間
[I] 市町村立美術館活性化事業	市区町村(政令指定都市を除く)の設置する美術館	参加を希望する各市町村立美術館より申請 ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度:10/10 開催年度:2/3	準備年度:100万円 開催年度:1,200万円	
[II-①] 公立美術館共同巡回展開催助成事業(2か年プログラム)	都道府県、政令指定都市、市区町村の設置する美術館	3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる) ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度:2/3 開催年度:2/3	準備年度:150万円 開催年度:2,000万円	2年間
[II-②] 公立美術館共同巡回展開催助成事業(単年度プログラム)		3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	2/3	作品借用・展示関連:500万円 図録作成関連:300万円	1年間
[III] 公立美術館共同巡回展企画支援事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	10/10	100万円	
[IV] 公立美術館共同地域交流プログラム助成事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請(代表館が取りまとめる)	10/10	100万円	

*1 公立美術館活性化事業における美術館とは、博物館その他を含め、美術作品の公開および保管を行う施設をいいます。

*2 [I]の開催年度および[II-①]については、対象経費の合計額から取入を控除した額の助成率です。その他については、対象経費の合計額に対する助成率となります。

▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

石川県珠洲市

スズレコードセンター



上: スズレコードセンター ©T.Sugihara
下: 「珠洲のアルバムを開く夜」(5月1日)

● スズレコードセンター

市民や市役所等から寄せられた写真や映像の地域資料をデジタルデータ化し、それを軸に展示やイベントを開催。また、解体前の家屋の撮影を行う「出張レコード」を実施。開設にはせんだいメディアアテック(仙台市)の「3がつ11にちをわすれないためにセンター」にも携わる甲斐賢治氏がディレクターとして参加。
〒927-1214 珠洲市飯田町11-79-1
<https://okunoto-archive.jp/>

*1 サポートスズ

石川県珠洲市で2017年に始まった奥能登国際芸術祭を機に、19年より活動する一般社団法人。設立時の活動は、3年に1度開催される芸術祭のボランティアサポーターのアテンド、市内に点在する美術作品のメンテナンス、作品や地域のガイドなど。24年の能登半島地震以後は、芸術祭総合ディレクター・北川フラム氏が代表を務めるアートフロントギャラリーと共に「奥能登珠洲ヤッサープロジェクト」を立ち上げ、作品の修繕や施設の再開、復興ツアーの受け入れ、スズレコードセンターの運営等を行う。現在の中心スタッフは5名。

*2 スズ・シアター・ミュージアム

「大蔵ざらえ」によって市内の蔵などから収集した民具等を保存・調査・展示する博物館と、そうした民具を用いてアーティストが制作した作品を展示する美術館が融合するこれまでにないかたちのミュージアム。

2024年1月1日の能登半島地震と9月の豪雨で甚大な被害を被った石川県珠洲市。1年半を経て、徐々に心の復興に向けての取り組みが始まり、5月1日には地域の記録・記憶を考えるための新たな拠点「スズレコードセンター」がオープンした。震災前に人口1万2,000人余りだった同市が、3年に1度の奥能登国際芸術祭を開始したのは2017年。コロナ禍により2回目は21年に開催され、約5万人が来場。芸術祭自体の復活は未定だが、地域を支える活動には芸術祭によって培われた土壤も生かされているという。5月末、芸術祭プロジェクトマネージャーの関口正洋さんの案内で、現在の珠洲を回った。

2023年11月号の本欄でふれた、高校生と芸術祭を巡る「劇的! バスツアー」など、筆者は過去3度、同地を取材している。それも、震災後初めて直接目にした珠洲の変貌はやはり衝撃だった。美しかった日本海側の外浦の海岸通りは山の崩落で一変。公費解体で家屋は撤去され、雑草に覆われた空き地が広がり、芸術祭で訪れた会場の多くが無くなっていた。

飯田町の市街地にある倉庫を改修したレコードセンターは、そんな急速に変化する地域の記録・記憶を考えるための拠点だ。かつての珠洲の写真の起点にした交流を育む活動で、取材時は「珠洲のアルバム」展が開催されていた。壁に貼られたありし日の活気ある町の写真には、「若かりし頃の母親の写真を見つけた」など現在の住民のコメントが添えられている。5月1日の写真の上映会には住民約100人が集まり、被災地の夕べに賑わいが生まれたという。

同施設を運営するのが、芸術祭を機に設立された「サポートスズ」(*1)、通称サポズだ。スタッフの西海一紗さんは移住3年目。震災前から広報として地域の撮影を担当していたが、震災後、個人での記録に限界を感じていた時に、関口さんからコミュニティアーカイブを提案された。現在集まった写真は約2,500枚。「今は変化が激しく、地元の人も以前の町を思い出せなくなっています。ここにふと立ち寄り、これからを考える場所にできたら」と話す。

揚げ浜式製塩業で知られる大谷町には芸術祭の拠点施設、旧小学校体育館を再活用した「スズ・シアター・ミュージアム」(*2)と坂茂設計の「潮騒レストラン」がある。ミュージアムは夏を目前に再始動を模索しているが、レストランは5月1日に再開。休業中は避難所で腕を振るっていた店長・加藤元基さん(サポズ)による地元食材を使った料理が楽しめる。そこで県外ボランティアのガイドをしていた坂口彩夏さんと出会った。千葉出身の俳優で、24年秋に移住。「被災地では誰もができることがある」と生き生き話す彼女も、西海さんも20代。坂口さんは、移住組のカメラマンの友人が空き家をギャラリー&ライブスペースにする予定と教えてくれた。

芸術祭の参加作家も震災後の珠洲に寄り添っている。アートチームSIDE COREは被災地を巡るツアーを企画。さわりらきは作品を設置した日置地区の青年団員となり、地域の復興計画に参加する。村尾かずこは担い手不足で廃止されていた「砂取節まつり」の復活祭でサザエのキリコを制作し、芸術祭を機に交流を深めてきた珠洲焼作家・坂本市郎さんの壊れた窯や建物の修復に駆けつけた。「一人では気落ちしていたが、皆が来てくれたことで作業する意欲が保てた」と坂本さんは振り返る。

副市長でサポズの専務理事でもある金田直之さんは、「奥能登の2市2町で珠洲市が一番移住者が多い。市が従来続けてきた地道な活動に加え、芸術祭が地元といろんな人をつなげてくれていたことが明らかに後押しになっている。行政ではカバーしきれない町の記録を、レコードセンターのような民間が支えてくれるのはありがたい」と評価する。

取材中には芸術祭常設作品も見学した。珠洲の現状と歴史、風土に深く基づく作品は、震災を経た現在の感性にも驚くほど響く説得力を持ち、人に寄り添うアートの普遍的な力を感じさせた。「アートは直接的に傷を『治療』することはできないが、『治療』することはできる」。関口さんがふと口にしたそんな言葉の意味を噛み締める取材となった。

(アートルライター・杉原環樹)